

一般質問



鈴木 久夫 議員

問 災害に備え防災リーダー配置を

答 地元区に依頼していく

いま、南海トラフ巨大地震の発生が心配されている。地元自主防災会の体制強化など、実践力のある組織

に変え、想定を超えた災害に備えていく必要がある。
問 専任の防災リーダーの配置を。

答 **総務部長** 現実的には難しいが、地元区に依頼していく。
問 防災会の体制と役割分担を明確に。

答 安全テラスセンターにおける取り組み課題のひとつと考える。
問 迅速な被害情報収集に、ドローンの活用を。
答 人的、物的に課題も多いが、今後研究を進めていく。

問 発災後、各防災会が活動する拠点を明確に。
答 来年度から、自主防災会の組織図に記入するような工夫をする。
問 災害時の避難所開設と運営は、ほとんどが地元。町は、地元と事前調整を。
答 今後、行政区や学区ごとに、必要な準備と調整を進めていく。
問 水・食糧などの、家庭内備蓄が重要である。徹底した周知を。
答 各訓練を通じて広報していく。



深溝学区の防災訓練

問 線の考えは
安城蒲郡線の
事業再開の

答 県に整備を要望
していく

海谷区地内の県道路事業が、休止され進展がない状態が続いている。本道路は、ほ場整備事業などにより、用地の協力がされている。事業の再開を問う。
問 県に協力した用地面積と、取得割合は。
答 **建設部長** 用地買収済

問 未買収区間西側一帯の、土地利用構想もある。アークセ道路が必要となるが考えは。
答 面的整備が行われる場合は、周辺の道路網を同時に検討する。
問 三ヶ根駅西横断歩道橋が劣化している。
答 全面的な改良をし、通学児童たちの安全確保を。
問 今年度、県が修繕工事を実施する予定と聞いている。

一般質問

いざわ しんいち
伊澤 伸一 議員

問 野場1号線を先行整備すべきだ

答 町道路整備計画の中で進める

菱池遊水地の用地買収予算が措置され、今年と来年度で買収できる見通しとなった。

問 遊水地と関連の深い野場横落線を、現在の計画どおり築造するうえでの問題点は何か。

答 **建設部長** 鉄道及び広田川をどう横断するかである。

問 全線開通のため、起終点変更も検討する考えは。

答 鉄道と広田川を立体交差するという、現在の都市計画決定にこだわらず、さまざまな方法を検討していく。

問 遊水地築造工事用道路として、野場1号線を先行整備すべきだ。

答 今後の町道路整備計画の中で、取り組みを進める。

問 工用上土砂は地元で採取し、跡地を利用しては。

答 跡地の活用を目的として、県が築堤のための土砂を採取する開発は難しい。

問 町管理となる遊水地の利用計画方法作成のプロセスは。

答 町民の総意に基づいた

計画策定を心がける。維持費の試算結果を公表し、意見を求める考えは。

答 町民にも意見を求めるステップが必要と考えている。

問 永野1号線の早期改良を

答 円滑な通行ができるように努める

昭和後半から平成前半にかけて、全町にわたりほ場整備事業が行われ、将来に必要となる多くの道路用地が地権者の減歩で出されている。

問 ほ場整備事業で用地確保済みで、未施工路線の状況は。

答 **建設部長** 野場1号線、永野1号線、野場横落線、安城浦郡線、須美福岡線などがある。

問 昭和・平成時代の積み

残し事業で、事業化されない理由。

答 ご協力いただいた以外の部分で、用地取得が難航している。他の路線の整備が進んだことで、相対的に整備順位が下がったものなど。

問 建設中の藤田医科大学岡崎医療センターへの、

JR線西側地域からのアクセス道路として重要な永野1号線の早期改良を、野場福岡線の完成を待つことなく、町としての整備がどのようにできるか、県と協議をして、円滑な通行ができるように努めていきたい。



整備が待たれる永野1号線